

# 小俣中だより

R4.1.11

No.14

伊勢市立小俣中学校

校長 西岡 幸一

Tel22-3610 Fax27-3028

【学校教育目標】

《《 豊かな心と確かな力をもった生徒を育成する 》》

## ◆令和4年 寅年の幕開け◆

『明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。』

あっという間に 10 日間が過ぎていったように思います。みなさんは、穏やかに新年を迎えることができたでしょうか？放送による冬休み明け集会では、「冬休み中の大きな事故や事件の報告がなかったことが一番うれしく思います。」「一人ひとりにとって明るく素晴らしい年となるよう、力を合わせて、また、切磋琢磨しながら学校生活を過ごしてもらいたい。」「令和3年度の締めくくりの3か月、とはいえ、学校へやってくる日、つまり授業日は1,2年生49日、3年生は卒業式まで40日です。限られた日数で最大の成果を上げられるよう、とにかく一日一日を大切に、充実した毎日を送れるようにしていきましょう。」「今一度、感染対策をしっかりと講じて、安全安心の学校生活を送りながら、自分だけでなく家族や友人をはじめとする周りの人の健康や命を守る行動を徹底していきましょう。」等の話をしました。

年初めの3か月は特に時の経つのが早いものです。昔から、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」といわれるくらいですから、目標もなく毎日を過ごしていると、あっという間に時は過ぎてしまいます。令和3年度の締めくくりとして、令和4年度に向けての準備期間として充実した3か月間にしていきたいです。

保護者や地域の皆様には、小俣で育つ子ども達のために、小俣中学校の教育活動に対し、今まで以上にご理解とご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝をお祈りいたします。



**目標達成!**

プラスのことを  
口にすれば夢は  
きっと叶う!!



## ◆12月のアルミ缶回収◆

12月15日(水)、16日(木)にアルミ缶回収を行いました。今回も生徒会であいさつ運動を行ってくれました。大きな声で挨拶をしてくれる生徒やアルミ缶の袋を提げて登校してくれる生徒に元気もらっています。保護者の方々につきましても毎月、ご協力いただきありがとうございます。

毎回、お知らせしていますが、アルミ缶回収による収益金は、生徒会活動や部活動の消耗品や備品等に使用され、今や学校生活にとって欠かせないものになっています。取り組みについては、環境問題、SDGsを学ぶ場と捉え、それにかかわる機会と考えています。各ご家庭においては、無理のない中でご協力していただければと考えています。よろしくお願いいたします。

12月に集められたアルミ缶は、32,266個でした。現在の総回収数は、207,958個となっています。1月の回収日は、12日(水)、13日(木)になっていますので、ご協力よろしくお願いいたします。



あいさつ運動とアルミ缶回収の様子 (12月15日・16日撮影)

## ◆全国学力・学習状況調査の結果について◆ (学力調査結果編)

大変遅くなりましたが、昨年5月27日に実施された全国学力・学習状況調査について、本校の結果をお知らせします。実施調査は、国語科と数学科の2教科と質問紙調査です。

三重県の中学校の平均正答率は、全国の平均正答率と比較すると数学は1ポイント上回っていましたが、国語は2ポイントほど下まわっていました。本校の結果は、国語と数学とも全国の平均正答率と同等でした。これはあくまでも平均であり、1つの資料のようなもので、この平均正答率が高いから、低いからどうこう言うものではありません。それよりも学校全体で、または個人でどういう部分が良くできているか、できていないかを分析することで授業を見直し改善につなげたり、家庭学習のしかたを考えたりする資料とするのが、実施の意義です。

【国語】学習指導要領の領域等の区分で本校の結果を推し量ると、4領域の中の「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国を上回っています。3年生の授業では、故事やことわざなどの習得に力を入れていることや活発な討論や発言により、2つの領域が結果に結びついているのではと分析できます。

しかし、反対に「読むこと」については全国を若干下回り、「書くこと」については、大きく下回っています。朝読書や授業での教科書の読み込みだけでなく、自宅等でも新聞や読書等の機会を増やしていくことが必要であると考えます。「書くこと」については、授業でのふりかえりやまとめの機会を増やすことや、作文や日記などの習慣をつけるなど様々な工夫をしていくことも効果的ではないでしょうか。少し飛躍しますが、大学入試でもセンター試験から共通テストに移行し、すべての教科の問題文の量が倍以上となり読み取りの力が不可欠となっています。総合的な国語力を身に着けることは、すべての教科のレベルアップにつながっていくと考え、学習を進めていってほしいと思います。

【数学】学習指導要領の領域等の区分で本校の結果を推し量ると、4領域の中の「数と式」、「関数」では全国平均を上回りました。しかし、「図形」、「資料の活用」は、どちらも少し下回ったことから、課題があるようです。特に、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるかを問う問題で、全国の平均正答率を大きく下回る結果となりました。「資料の活用」については、社会科や理科などをはじめとする教科でも身につけなければいけない力です。資料やデータを的確に読み取るには、様々な表やグラフ等に慣れることが必要であると考えられます。教科横断的な学習の課題ととらえ、苦手な人はその克服に積極的に取り組んでほしいと思います。

学習状況調査の結果については、次号で報告します。ご了承ください。

3年生のみなさんは、いよいよ今月から本格的に私立や国立の入試が始まっていきます。ミスを少なくするために、落ち着いて試験に臨んでほしいと思います。そのためには、

★時間に余裕を持って行動すること(集合時間等に余裕を持つと心にゆとりが生まれます)

★最初に受験番号と名前を記入し、すべての問題を最後まで確認してから取り掛かること

★問題や別紙資料等は、しっかりと読み込むこと(問題文の中には、ヒントがいっぱいあります)

が必要になります。「実力以上の力を出そう」とすると緊張の度合いは増してしまいます。それでは、緊張して実力そのものを出せなくなってしまいますから、「今の実力通りの力を出すだけだ」と考えて臨んでください。仮に1つの教科が良くなくても、あとの教科でカバーすれば合格を勝ち取ることは可能です。終わった教科は振り返らず、目の前にある教科の問題を1つでも多く解いて点数を取ることに集中してください。皆さんの健闘を祈ります!

## 【注目】学校開放デー、1,2年合唱コンクール、新入生説明会実施の有無について

2022年に入って、再び新型コロナウイルス感染症の感染者数が全国的に拡大の一途をたどっています。昨日は、全国で8,249人、三重県でも27人が新規感染者をして報告されていて、この増加のスピードは驚異的です。現在、感染が広がっているといわれるオミクロン株は今までのデルタ株に比べて感染力は数倍ともいわれています。私たちにできることは、日常の感染対策の徹底と不要不急の外出など不特定多数が集まる場へ行くことを控えることにつきます。

今後の学校行事予定としては、1月20日・21日に学校公開デー、2月2日に1,2年合唱コンクール、2月5日新入生説明会が予定されています。学校にウイルスが入り込む可能性を少しでも下げる工夫が必要となりますが大切な行事ですので、何らかの制限を行うことを前提に、感染状況を注視しつつ保護者来校の有無を判断していきたいと考えています。判断については、それぞれの行事1週間前までにはすぐメール等でお知らせしますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。